研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-900		17-097	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Does Moderate Drinking Increase the Risk of Atrial Fibrillation? The Norwegian HUNT (Nord-Trøndelag Health) Study.

飲酒は適正量でも心房細動リスクとなるか: ノルウェーHUNT（Nord-Trondelag Health ）Study

執筆者

Gémes K, Malmo V, Laugsand LE, Loennechen JP, Ellekjaer H, László KD, et al.

掲載誌

J Am Heart Assoc. 2017 Oct 20;6(10).

キーワード	PMID
心房細動（AF)、適正飲酒、飲酒量、HUNT スタディ、コホート研究	29054845

要　旨

目的：

過度の飲酒は心房細動（AF)リスクとなることが報告されているが、軽度～中等度飲酒の AF に与える影響は明らかでない。そこで、適正飲酒が AF のリスクになるかを検討した。

方法：

ノルウェーの大規模コホート研究である HUNT（Nord-Trondelag Health Study)に 2006-2008 年に登録された、AF の既往歴がない 47,002 人を 8 年間追跡した。自己申告による飲酒頻度と飲酒量（純アルコール換算量）により、対象者を 5 群（非飲酒群・機会飲酒群・週 30g 以下群・週 70g 以下群・週 70g 超過群）に分け、非飲酒者に対する各群の AF 発症ハザード比を、Cox 比例ハザードモデルを用いて求めた。また、適正飲酒量（男性：1 日 20g 以内、女性：1 日 10g 以内）の者について、飲酒の AF に対する影響（PAF：人口寄与危険割合)を算出した。

結果：

1 日平均の純アルコール量は 3.8±4.8g で、週に 30g 以上飲酒する者は全体の 23%だった。アルコールと AF 発症の関連は週 70g 以内の群では認められず、70g 超過群で非飲酒群に対する AF 発症のハザード比が 1.38 (95%信頼区間, 1.06-1.80)と有意に上昇した。適正飲酒者のみに限った解析では、飲酒量に関わらず AF ハザード比はほぼ 1 であり、適正飲酒の範囲内では量反応関係は認めなかった。なお、適正飲酒者における非飲酒者に対する AF の PAF は 0.07% (95%信頼区間, 0.01-0.13%)であった。

結論：

ノルウェーの大規模研究の結果、適正飲酒の範囲内では飲酒は AF のリスクとはならない可能性が示唆された。